

新経営計画の検討状況

2025年10月

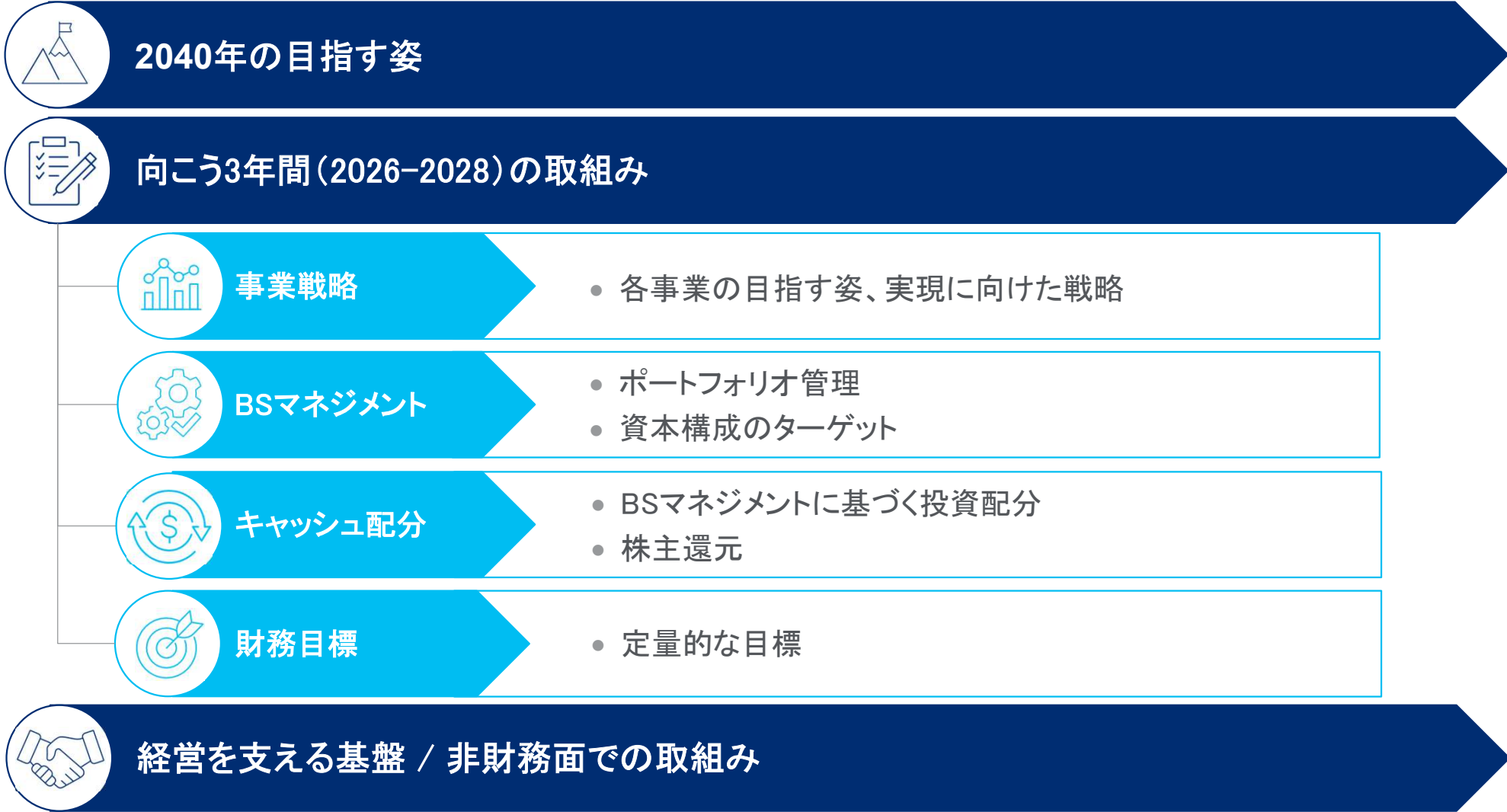
 Kansai Electric Power Group
power with heart



新経営計画に向けた検討状況

- 2040年の目指す姿を見定め、向こう3年間(2026-2028)の計画を策定中。
- BSマネジメントにおける資本構成のターゲット及び株主還元方針の方向性を今回、お示し。
- 検討の進捗状況については、今後も、適宜示し、株主・投資家の皆さまと対話していく。

新経営計画に向けて議論している主要事項



2040年の目指す姿の方向性

- 社会基盤を担う企業グループとして、日本の産業とともに成長し、社会やお客さまのお役に立ち続ける。
- 多様なステークホルダーとともに、時代に先駆けて挑戦し、新たな価値を創り、共感と成長を分かち合う。

お客さま、従業員、取引先、地域社会、金融機関、政府と規制当局、株主・投資家、そして、未来の世代

2026～2028年の方向性

- グループ事業基盤を支える投資を着実に実行、トランジション投資をはじめ、各種の成長投資は、将来を見据え、規律をもって実施していく。
- インフレ進行、金利上昇により、WACCは上昇圧力、ROICは下押し圧力が想定される。
- 資本効率を向上させるためのBSマネジメント、キャッシュの配分を適切に行い、持続的な企業価値向上への道筋を付ける。

多様なステークホルダー



Kansai Electric Power Group


power with heart

ともに新たな価値を創り、共感と成長を分かち合う

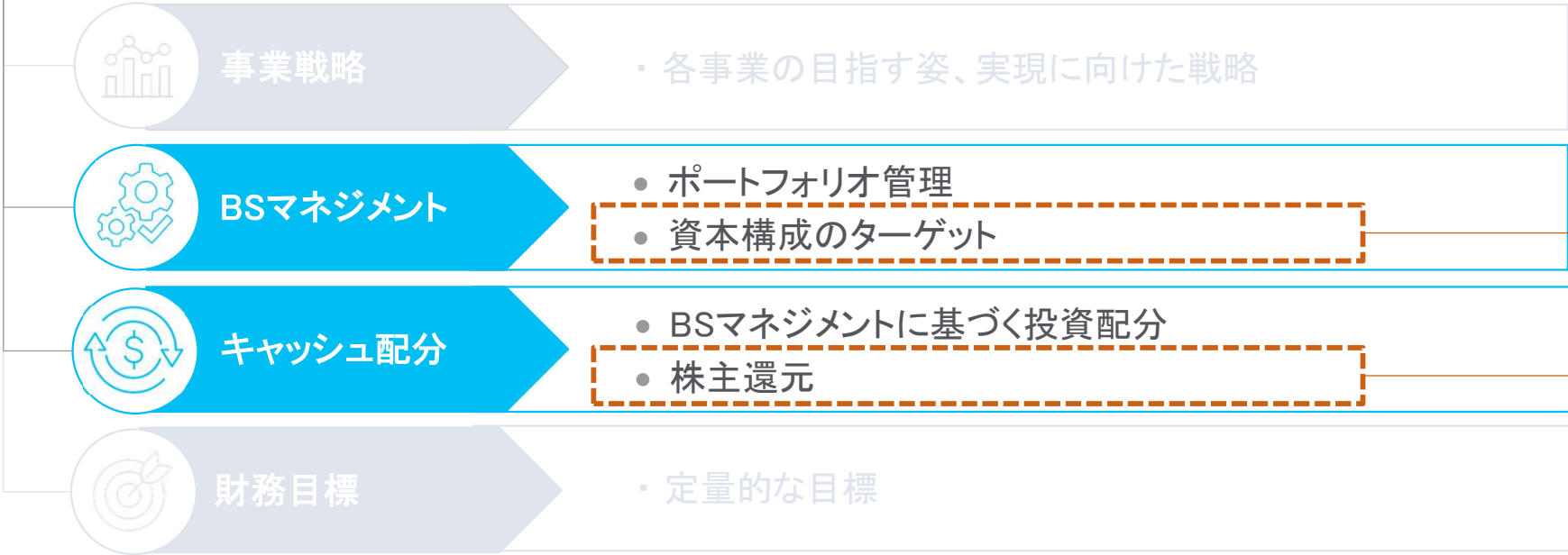
新経営計画に向けた検討状況

- ・ 2040年の目指す姿を見定め、向こう3年間(2026-2028)の計画を策定中
- ・ BSマネジメントにおける資本構成のターゲット及び株主還元方針の方向性を今回、お示し
- ・ 検討の進捗状況については、今後も、適宜示し、株主・投資家の皆さまと対話していく

新経営計画に向けて議論している主要事項

 2040年の目指す姿

 向こう3年間(2026-2028)の取組み



本日、
お示しできること

 経営を支える基盤 / 非財務面での取組み

BSマネジメントの高度化

- 2040年の目指す姿に向けて、BSマネジメントを着実に実行し、持続的な企業価値向上を図る。
- ターゲットとする資本構成を定め、各事業のROICとWACCを把握・評価し、投資・事業のポートフォリオを入替えることによって、全社のROIC-WACCスプレッドの向上を図る。

投資・事業ポートフォリオの入替を実行

- 事業別のROIC-WACCスプレッドをベースに、市場の成長、投資回収期間、リスク分散効果等を踏まえ判断
- 政策保有株式は、保有意義が乏しいものは売却。意義が認められるものも、取引先等と対話し、売却を進める

資本構成のターゲット決定・全社WACCの計測

- 事業リスク、WACC低減、格付方針の観点から、資本構成のターゲットを検討
- ターゲットは、定期的に見直し



事業別ROICの計測

事業別WACCの計測

上記サイクルの実行により、持続的な企業価値向上を図る

資本構成のターゲット

- 複合的な事業リスクに耐える財務基盤、資本コスト、格付方針の観点から資本構成のターゲットを検討。
- 資本構成を適切にマネジメントすることで、財務健全性を維持し、また資本コストも抑制しながら、成長戦略の実現を支える。

資本構成のターゲットの考え方

複合的な事業リスクに耐える財務基盤 ・ 資本コスト ・ 格付方針

自己資本比率

自己資本比率のターゲット：
30%台半ば
を目安(で検討中)



一時的な上振れ(=レバレッジ低下)要因例:

- 大型投資前の財務体質強化(資本蓄積、負債圧縮)
⇒大型投資実行によりターゲット水準へ収斂

一時的な下振れ(=レバレッジ上昇)要因例:

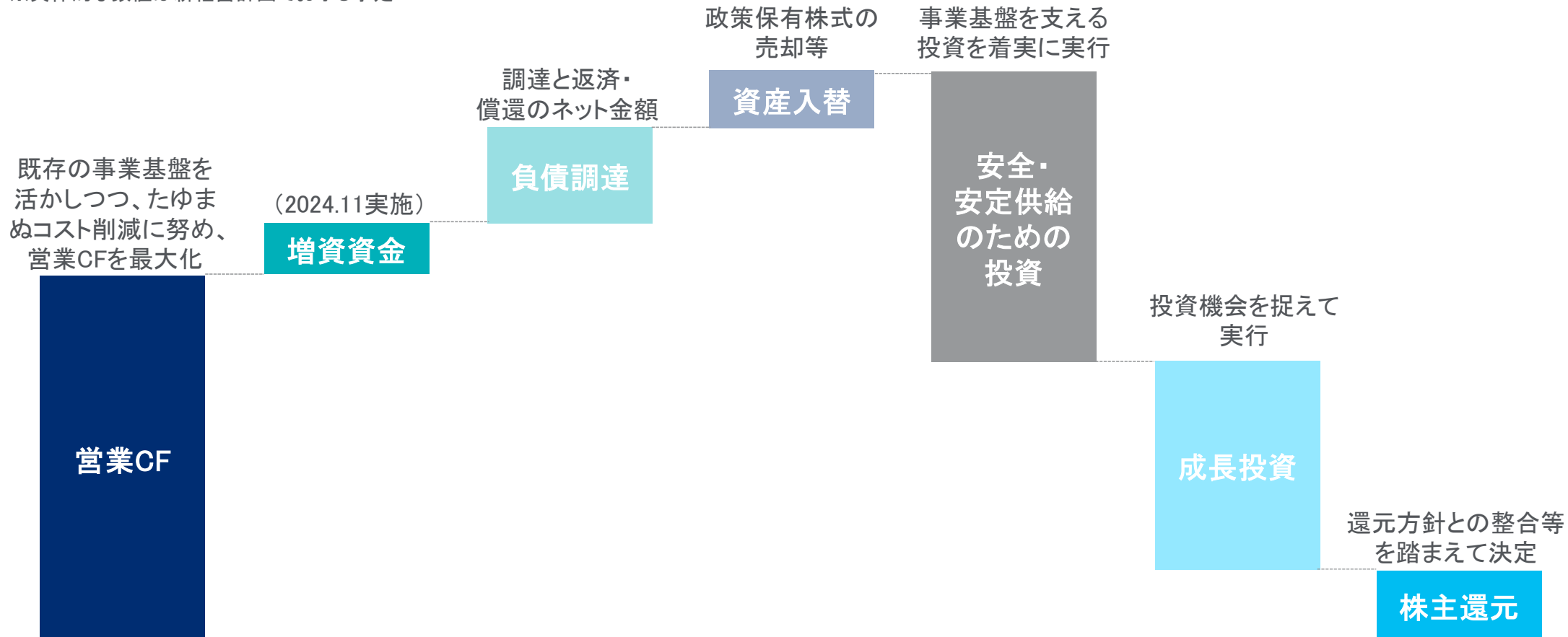
- 大型投資による負債増加
⇒投資回収による資本蓄積や負債圧縮によりターゲット水準へ収斂

キャッシュアロケーション

- 既存の事業基盤を活かした営業キャッシュフロー拡大や、資産入替等、キャッシュインの最大化を目指す。
- 安全・安定供給のための投資等、グループの事業基盤を支える投資を着実に実行する。
- 財務基盤強化に留意しつつ、成長投資は投資機会を捉えて、また株主還元は還元方針との整合等を踏まえて、決定する。

キャッシュアロケーション(2026~2028年)概要

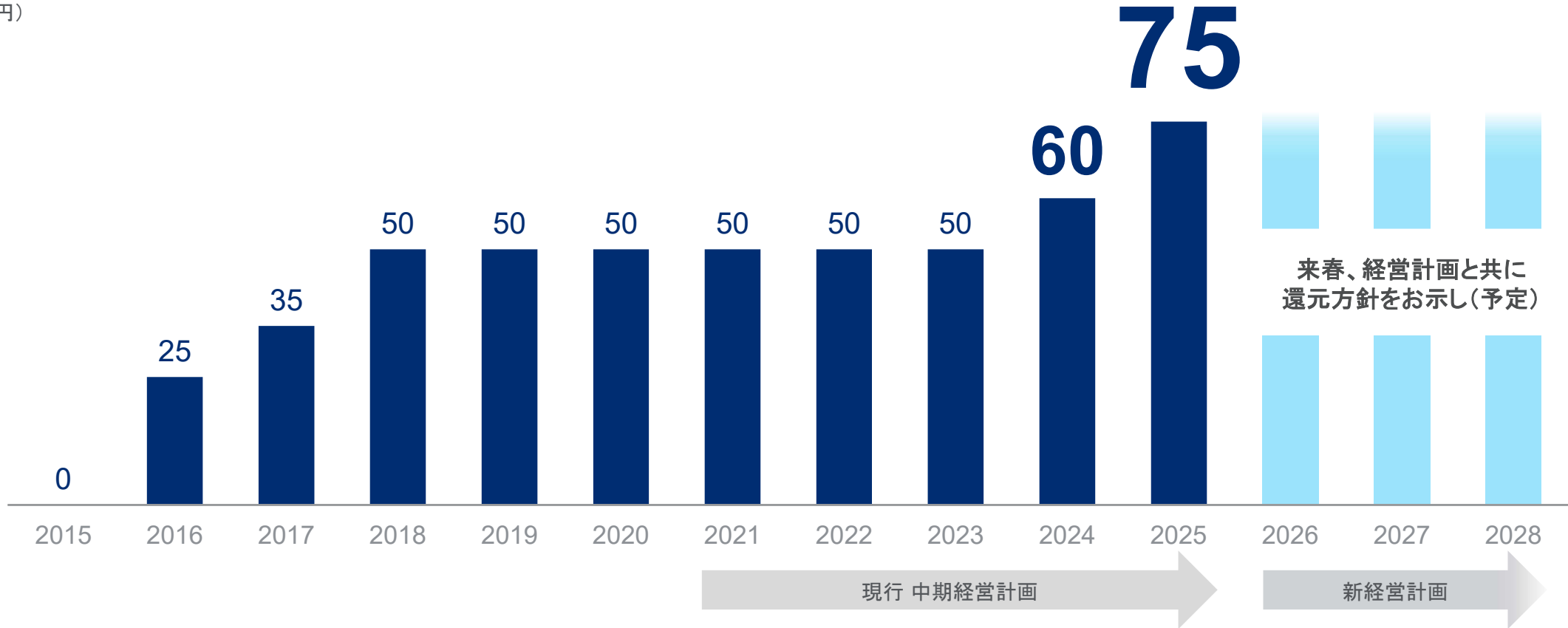
※具体的な数値は新経営計画でお示し予定



株主還元

- 原子力7基の再稼働で収益基盤が整い、一定の財務健全性を回復するに至った。今年度も着実に利益を出せる見通し。
- これを受け、2025年度の配当予想を年初の60円から75円に見直し。
- 来春、経営計画と共にお示しする還元方針は、「連結配当性向25～35%を目安に、安定配当」とする方向で検討。

DPS(1株当たり配当)推移
(円)



来春、経営計画と共に
還元方針をお示し(予定)

現行 中期経営計画

新経営計画